Keep on Smiling
～キープ オン スマイリング～
学校だより 第11号
県立はまなす特別支援学校
平成31年3月20日（水）
編集：三星

今年度を振り返って

校長　小玉　義明

桜の花に祝福されてスタートした平成30年度も、早いもので今日は終業式を迎えました。この一年間、学校は子どもたちを真ん中にして、様々な教育活動を工夫しながら行ってきました。保護者の皆様には、その都度、教育活動に対してご理解とご協力をいただきました。保護者の皆様と二人三脚で教育活動を進めてくることができたことを心より感謝しています。本当にありがとうございました。

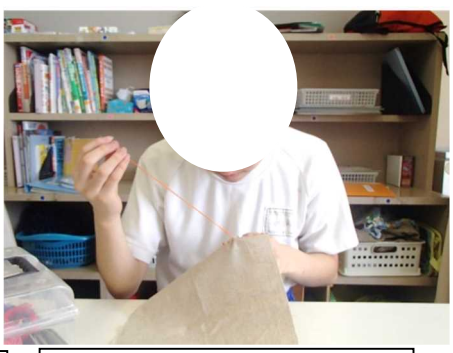
この時期、１年間を振り返ってみると、子どもたち一人一人に確かな成長があったことに気付くと思います。その成長の証は「あゆみ」に記入されています。皆様も「あゆみ」で確認しながら、この１年間のお子様の姿を思い出して見てください。以前と比べると、

○　落ち着いて座っていることできるようになったのではないですか。
○　あいさつがしっかりとできるようになったと思いませんか。
○　着替えも一人でできることが増えていませんか。
○　きちんと椅子に座って先生の話が聞けるようになっていませんか。
○　体力が付いて、体調を崩すことが少なくなったのではないですか。

他にもいろんなことが思い出されてくるのではないでしょうか。できるようになったことは一人一人違いますが、全ての子たちが、この１年間で心も体も大きく成長してきたことは確かです。この子どもたちの成長は、教職員の指導もさることながら、保護者の皆様やさざなみ学園はじめ関係機関の皆様の協力があってこそのことと思います。この関係をもっともっと強くしていきたいと思います。よろしくお願いします。

３月 22 日は卒業式です。小学部は６年間、中学部と高等部はそれぞれ３年間の学習を終え、次のステージへの旅立ちを称える日であると思います。卒業生全員にそんな気持ちを込めて、卒業証書を手渡したいと思います。卒業生それぞれの思いや、保護者の皆様方や教職員の心のこもった卒業式にできればと思っています。

小学部：「がんばったで賞」賞状授与


中学部：工芸班作業風景

高等部：作業製品販売会

平成30年度学校評価の結果について

今年度のアクションプランの評価結果についてまとめましたので、報告させていただきます。

１　アクション・プランⅠ　　「健康な体」の育成

目指す子どもの姿

◇健康な体を意識して生活を送ることができる子ども。

◇進んで運動に参加することができる子ども。

評価項目	評価の結果
◎　生活習慣の改善に継続して取り組む。 ＜児童生徒・保護者・教師＞ **○７０%以上の児童生徒が、生活習慣の改善に継続して取り組む。**	Ｂの評価 ・家庭で生活習慣の改善に継続して取り組めた児童生徒は、66.7%でした。１学期と比較すると、11.8 ポイント数値が下がりました。
◎　昼休みに進んで運動に参加する。 ＜児童生徒・教師＞ **○８５%以上の児童生徒が、昼休み運動に参加する。**	Ａの評価 ・昼休み運動に参加した児童生徒の割合は 94.0%でした。ほぼ全校の児童生徒が、意欲をもって参加することができました。

【成果】

○全体としては、どの学部も健康な体を意識して生活を送ることができました。家庭での生活習慣改善の取組で「よくできた」と回答した家庭は、１学期より 4.1 ポイント上がりました。

○９月、１１月、１月、２月に昼休み運動を実施し、ほとんどの子どもたちが積極的に参加しました。各学部の体育部や児童生徒にも協力してもらうことで、様々な内容のダンスを行うことができました。健康づくりだけではなく、他学部との交流も深めることができました。

【課題】

●今後も継続して健康な生活が送れるよう、健康な体への関心を高めていく必要があります。体育の授業だけではなく、普段の生活でも「健康な体」「健康な生活」を意識できるよう児童生徒に働き掛けていきたいと思います。

２　アクション・プランⅡ　「人と関わる力」の育成

目指す子どもの姿

◇ 人と関わり、交流することができる子ども

評価項目	評価の結果
◎　家庭や学校で進んで挨拶をすることができる。 ＜保護者・学校＞ **○８５%以上の児童生徒が、家庭や学校それぞれの場でその子なりの挨拶の目標を達成できる。**	〈保護者〉 Ｃの評価　　〈職員〉 Ａの評価 ・家庭では取組の達成度は 70.3%、学校では挨拶週間で目標を決めて取り組み、達成度は 92.6%でした。
◎　地域資源を生かした活動の場で、児童生徒がその子なりの目標をもって人と関わることができる。 ＜児童生徒・教師＞ **○８５%以上の児童生徒が、その子なりの関わり方で個々の目標を達成できる。**	Ａの評価 ・地域の活動の場で、その子なりの目標をもって人と関わることができた児童生徒の割合は 97.2%でした。

【成果】

〇家庭での挨拶の取組の達成度は１学期と比べてやや下がりましたが、「家庭で練習したことにより、言葉が出るようになった。」「言葉は話せないが、話し掛けるとうなずくようになった。」といったご意見をいただきました。学校では挨拶週間を設定し、どうすれば目標が達成されるか分かりやすく示したことで、１学期より数値が上がりました。

〇学校での「地域資源を活用した活動の場で、目標をもって人と関わること」については、１学期より２ポイント向上しました。事前学習や人と関わる機会を積極的に取り入れることの大切さが分かりました。

【課題】

●「学校や外出先では挨拶をするが、家庭ではあまりやらない。」「できる時とできない時があった。」といったご意見がありました。今できていない子でも、もう少しでできるようになる場合もあります。家庭での取組で難しいことは、学校でも協力して取り組みます。今後も、家庭と学校で連携して進めていきたいと思います。

３　アクション・プランⅢ　「前向きな姿勢」の育成

目指す子どもの姿

◇自分の目標に向かって頑張る子ども

評価項目	評価の結果
◎自分の目標を達成しようと自分から行動することができる。 ＜児童生徒・教師＞ **〇８５%以上の児童生徒が、自分の目標の達成に向かって取り組む。**	Ａの評価 ・自分の目標に向かって取り組むことができた児童生徒の割合は97.0%でした。１学期と同じ数値で、年間を通して高い評価を維持することができました。

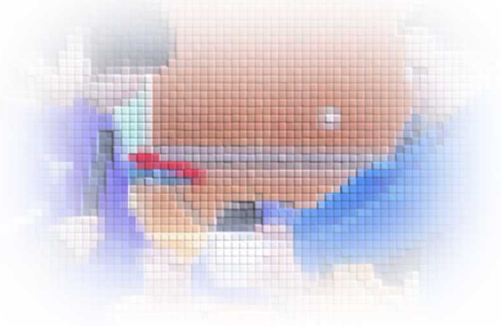
【成果】

〇小Ａは「体育または日常生活の指導」、中Ａは「日常生活の指導Ｂ」、高Ａは「校内実習・現場実習」、Ｂコースは「自立活動」の内容から目標を設定し取り組みました。家庭との連携、環境や時間設定の工夫、具体的なモデルを示すなど、様々な支援を取り入れることで、多くの児童生徒が意欲的に取り組みました。職員間で連携して指導の工夫や改善を行うことが、児童生徒の達成感につながっていることも分かりました。

＊２月に実施された学校評議員会では、今年度の取組が成果を上げていることを、学校評議員の皆様からも評価していただきました。学校と家庭が協力して取り組むことはすばらしいとお褒めのお言葉もいただきました。来年度も、家庭・地域・学校で連携を図りながら取組を進めていきたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

卒業を祝う会

小学部



中学部

高等部

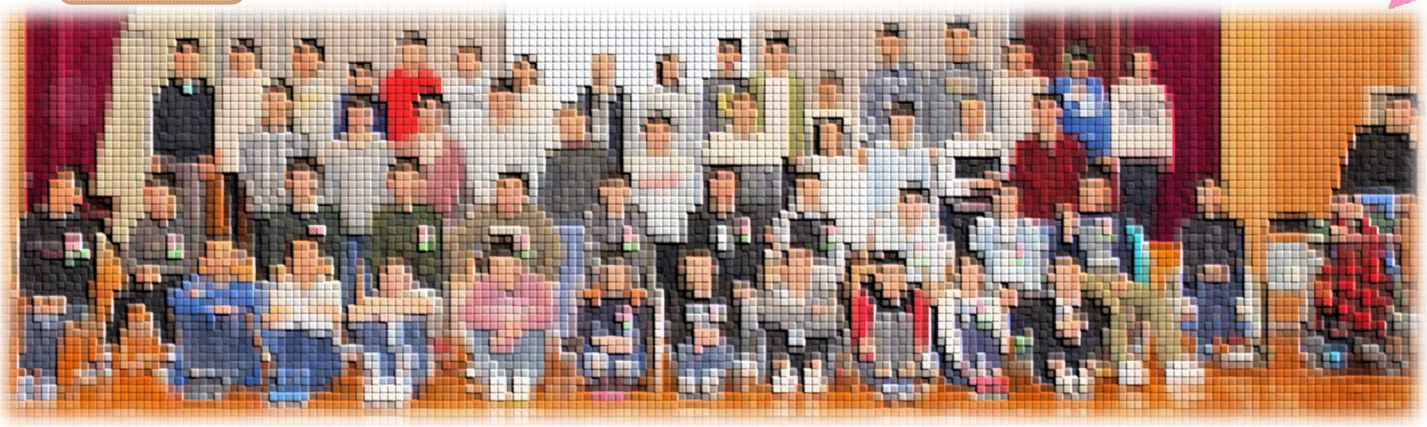


表　彰

絵画部門

特選	小3	遠藤	優太
金賞	小6	内山	岬
	中2	金子	凌地

新潟県児童生徒絵画･版画コンクール

版画部門

村山賞	中1	櫻井	遥			
特選	小2	本間	勇成	小5	徳永	翔太
	小6	栗林	瑶昌			
金賞	小1	池田	旭	小1	北郷	寛奈
	小3	遠藤	優太	小5	坂井	大河
	中1	品田	真斗	中2	村山	祥一
	中3	加納	高史			

新年度４月の予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
8	月	新任式　１学期始業式（給食なし）	１９	金	諸経費振替日　　PTA 広報部会 PTA 総務部会
9	火	入学式　（給食なし）	２２	月	PTA 行事部会
１０	水	給食開始	２３	火	小１､中１､高１心電図検査 高１胸部 X 線撮影
１１	木	全校朝会	２４	水	高 A３年修学旅行（～26 日）
１５	月	尿検査提出日 個別面談（～5/17）	２５	木	短縮授業　13:00～13:15 下校
１６	火	学習参観日 PTA 役員打合せ PTA 総会　学部・学級懇談会	２９	月	昭和の日
１８	木	PTA 研修部会	３０	火	休日